

チセヌプリスキー場 事業計画書

平成 28 年 4 月 20 日

有限会社 JRT トレーディング

取締役 カナハン・クレイトン・アンソ

チセヌプリスキー場 事業計画概要

チセヌプリスキー場の魅力とは、世界中から注目されるニセコパウダーという上質な積雪に恵まれ、訪れる人を魅了するニセコ積丹小樽海岸国立公園内に位置する事と考える。この2点を中心に事業を展開する事とする。

- ① 初年度から輸送能力に優れる索道を再開することとせず、まずはコスト面で優れた雪上車 (CAT) でスキー客を輸送するプランとする。集客に関しては、不安定な一般スキー客に頼ることはせず、現在ニセコエリアに確実に存在するスキーレッスンの需要にターゲットを絞り、スキースクールを収益の中心に置く。
- ② チセヌプリスキー場の立地条件である「国立公園内」「落ち着いた雰囲気」「上質なスノーコンディション」を最大限に利用し、CAT 利用のハイエンドなスキースクールにより富裕層を取り込み、事業の安定化を図る。
- ③ 世界中から注目されているニセコパウダースノーを確実に楽しめる早朝限定の「パウダーツアー」を開催し、主力商品の1つとする。
- ④ 主にスキー客の滞在するニセコエリアからはシャトルバスを運航し、将来的には蘭越サイドに宿泊施設を誘致し地域の経済に貢献する。
- ⑤ 「安定した集客」「チセヌプリ周辺の宿泊施設」の実現により、索道の再開を目指す (21 シーズン目標)
- ⑥ チセヌプリスキー場の立地条件を利用し、雪崩教育や山岳教育のイベントを主催・誘致し、教育活動を積極的に行う場所として利用・発信する。

上記のような戦略により堅実な経営を図り、実績を積み重ね、2021 シーズンにチセヌプリスキー場の本格オープンを目指します。